落合芳幾（おちあひよしいく）浮世繪師。天保四年四月江戸生れ、明治二十七年一月六日歿（一八三三―一九〇四）。本名幾次郎。別號よしいく、一蕙齋、惠阿彌、惠齋、晒落齋、朝霞樓、歌川芳幾、落合蕙齋、蕙齋、蕙齋芳幾、蕙齋陳人、蕙齋閑人等。歌川國芳門。月岡芳年、豐原國周（くにちか）と共に幕末・明治前期の浮世繪・插繪界を代表。

著書、弄月亭著編『童蒙必讀漢語圖解』（一）蕙齋名、畫圖、初一二合冊・明治二年孟夏序・文玉堂・文鱗堂）、『唾玉集』（合著・伊原青々園・後藤宙外編、明治二十九年九月十九日春陽堂）等。